

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における東井高野小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年4月から令和5年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- ・東井高野小学校では、5年生 53名

3 調査内容

- ・児童に対する調査
 - ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。
[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

- 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）を実施する。

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

東井高野小学校	学校	児童数	53
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.21	17.50	35.60	37.17	47.83	9.50	161.23	20.33	53.07
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	17.58	19.00	37.79	34.08	44.88	9.20	152.29	11.46	56.17
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

- ・男子は、上体起こし・反復横跳び・ソフトボール投げ、女子は反復横跳び・ソフトボール投げ以外は大阪市平均を上回った。体力合計点では、男子は大阪市平均より1.94ポイント・全国平均より0.48ポイント高く、女子は大阪市平均より3.5ポイント・全国平均より1.89ポイント高く、一昨年度から3年連続全国平均を上回った。
- ・児童質問紙「運動やスポーツをすることが好きですか」について、肯定的な回答は男子が90%、女子が95.8%であった。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は13.8%、女子は21.7%であり、多くの児童が運動をしていることがうかがえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

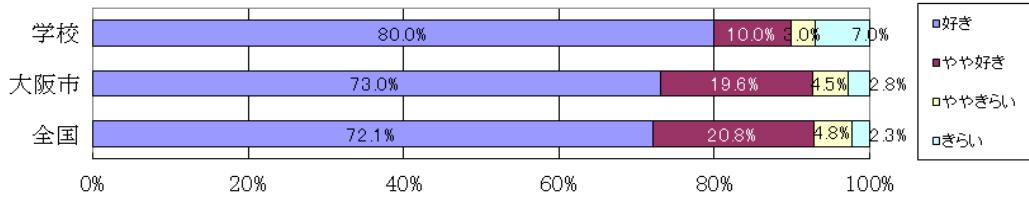
- ・毎年かけ足週間や縄跳び週間を設定し、体力向上に取り組んでいる。
(今年度は、運動場の改修工事の関係で、かけ足週間は未実施)
- ・3学期にはシャトルラン大会（ドッジビー大会は今年度は工事により未実施）を実施し学校全体で児童が目標をもって運動に取り組み、楽しみながら活動することができる。
- ・男女ともに、反復横跳びの結果が昨年度から全国平均を下回っている。反復横跳びの数值がなぜ低いかの理由を検証する。また敏捷性の向上のためにどのような取り組みを行うことが効果的かも検討する。

運動やスポーツについて(男子)

本校の特徴的な結果

1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



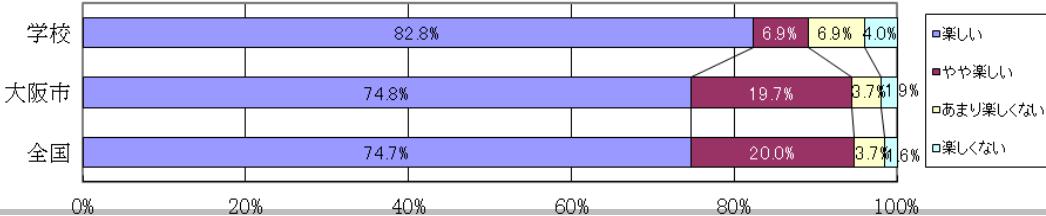
6

朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



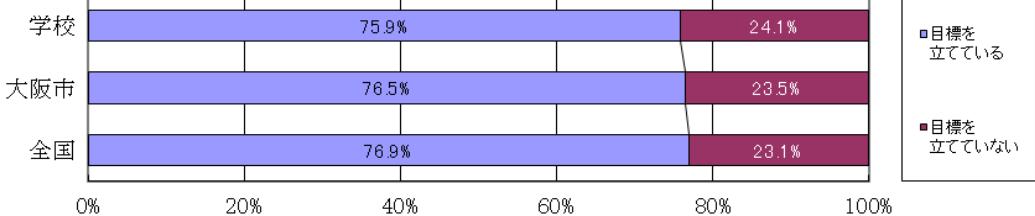
9

体育の授業は楽しいですか。



15

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



成果と課題

- 体育の授業では運動やスポーツに興味・関心が高まる取組の実践をし、休み時間も担任が中心となり、運動場で児童とともに体を動かした。また、シャトルラン大会（ドッジビー大会：工事の為今年度未実施）などを通して、児童が楽しみながら運動に親しんだ。
- 運動やスポーツをすることに肯定的な児童は90%で大阪市平均・全国平均より高いが、運動やスポーツをすることに否定的な児童も一定数おり、2極化が見られる。
- 朝食を毎日食べている児童は79.3%で大阪市平均よりは高いが、全国平均より低い。
- 体育の授業が楽しく感じていることに肯定的な児童は89.7%で大阪市平均・全国平均より低い。
- 体力テストに対し目標を立てている児童は75.9%で大阪市平均・全国平均より低い。

今後の取組

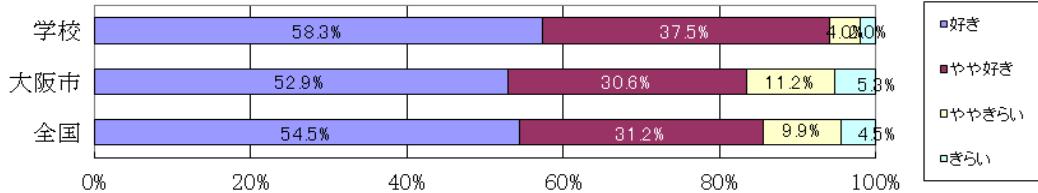
- 男女とも反復横跳びについては、全国平均を下回っているため、敏捷性の向上を高める取り組み（ストップ＆ダッシュやターンの切り替えなど）をする必要がある。
- 運動することが楽しく感じるような取り組みを今後も継続していく。

運動やスポーツについて(女子)

本校の特徴的な結果

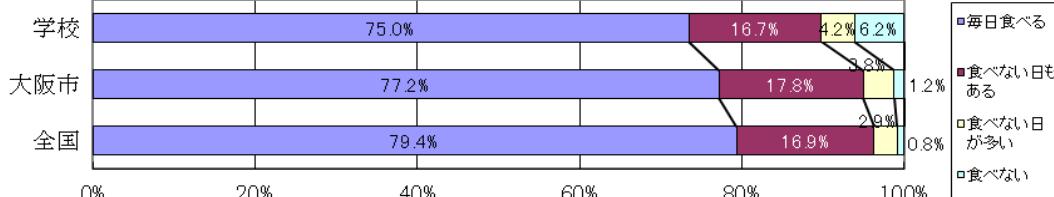
1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



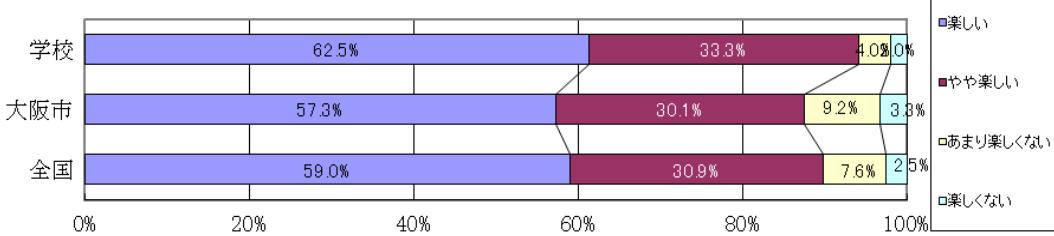
6

朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



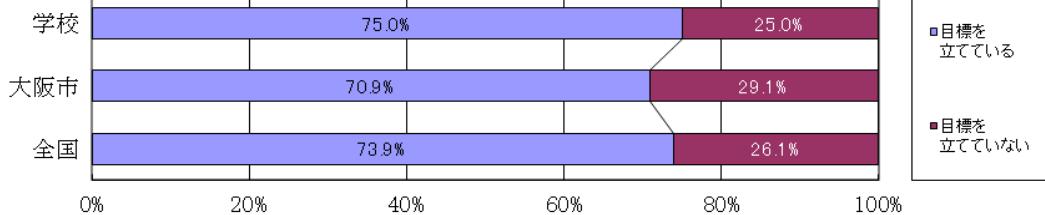
9

体育の授業は楽しいですか。



15

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



成果と課題

- 体育の授業では運動やスポーツに興味・関心が高まる取組の実践をし、休み時間も担任が中心となり、運動場で児童とともに体を動かした。また、シャトルラン大会、(ドッジビー大会:工事の為今年度未実施)などを計画し、児童が楽しみながら運動に親しんだ。
- 運動やスポーツをすることに肯定的な児童は95.8%で大阪市平均・全国平均より高い。
- 朝食を毎日食べている児童は75%で大阪市平均・全国平均より低く、「早寝、早起き、朝ご飯」の大切さをしっかりと伝える必要がある。
- 体育の授業が楽しく感じていることに肯定的な児童は95.8%で大阪市平均・全国平均より高い。
- 体力テストに対し目標を立てている児童は75%で大阪市平均・全国平均より高い。

今後の取組

- 男女とも反復横跳びについては、全国平均を下回っているため、敏捷性の向上を高める取り組み (ストップ&ダッシュやターンの切り替えしなど) をする必要がある。
- 運動することが楽しく感じるような取り組みを今後も継続して行っていく。